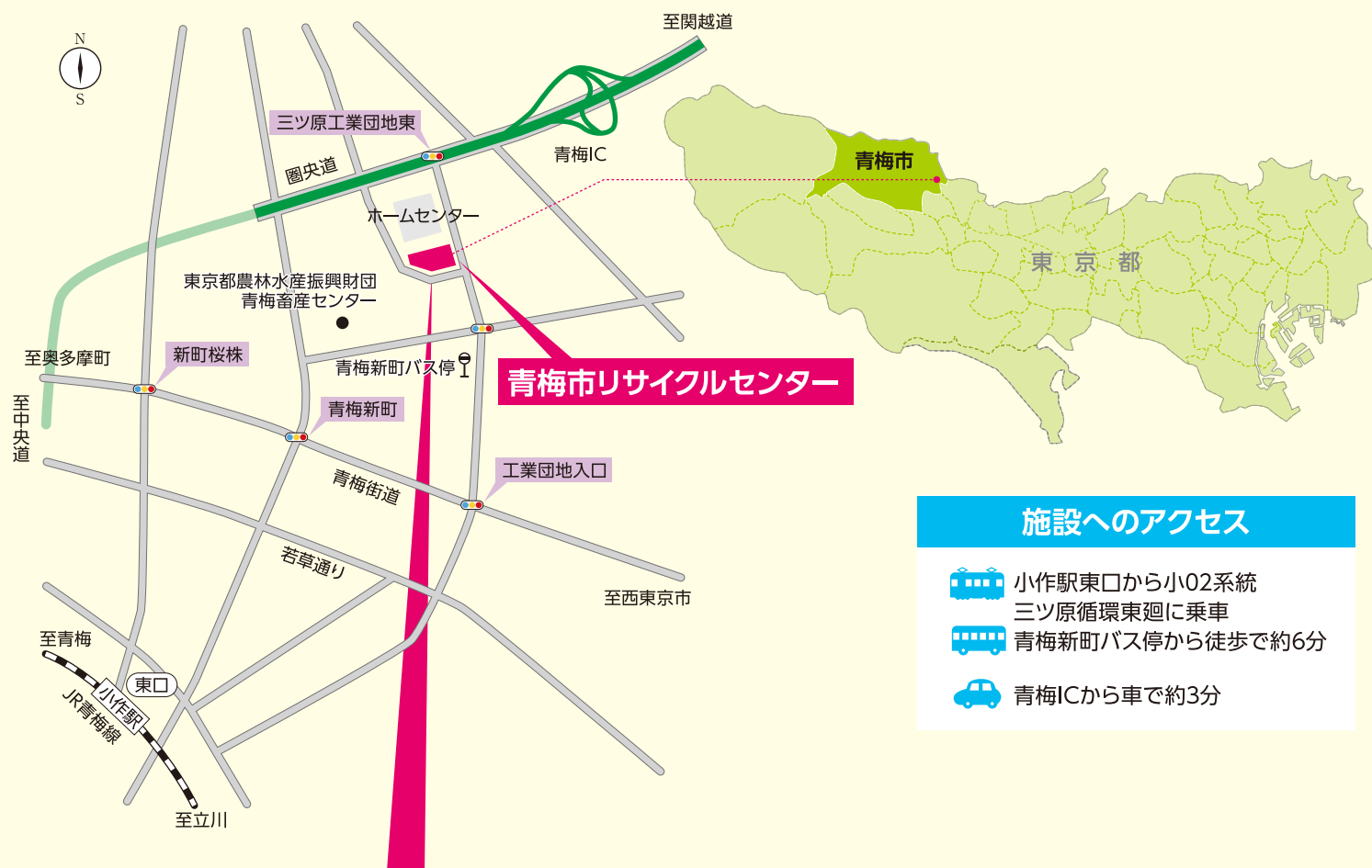


施設案内図



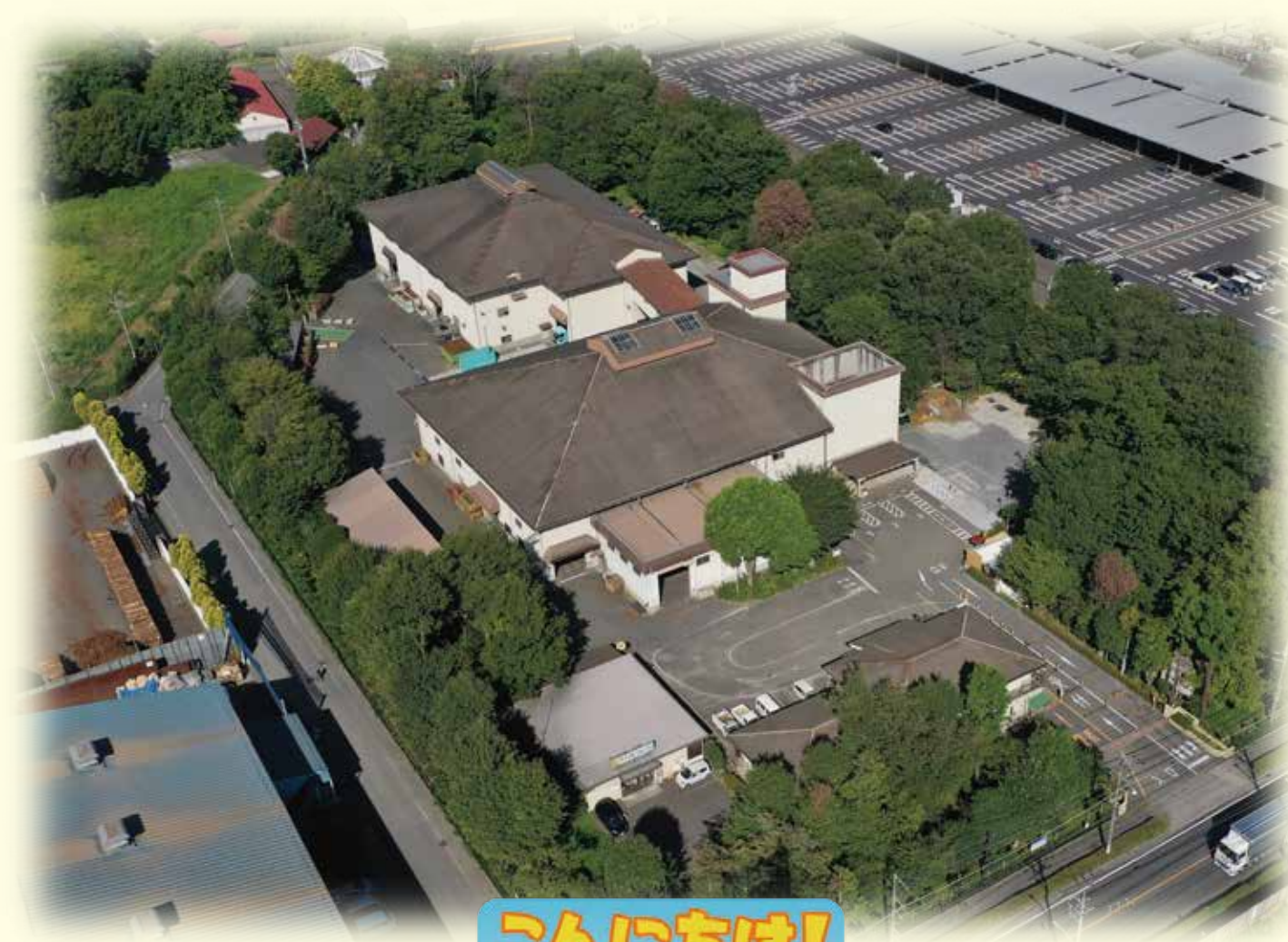
施設へのアクセス

- 小作駅東口から小02系統
三ツ原循環東廻に乗車
- 青梅新町バス停から徒歩で約6分
- 青梅ICから車で約3分



青梅市リサイクルセンター

OME CITY RECYCLE CENTER



みなさんこんにちは。
ここは青梅市リサイクルセンター
です。



青梅市公式キャラクター
ゆめうめちゃん

運ばれたごみが
どのように処理されているか
確認してみましょう。



青梅市リサイクルセンター

〒198-0024 東京都青梅市新町6-9-1

Tel. 0428-31-0540



青梅市



青梅市リサイクルセンターの紹介



青梅市リサイクルセンターは、市民の家庭から排出されたごみの資源化を推進し、貴重な資源の有効活用とごみの埋立処分量の削減による最終処分場の延命化、そしてごみを適正かつ安全に処理するために昭和59年4月に稼働しました。

現在は、次の3つの機能を持った施設となっています。

- 1 燃やさないごみおよび粗大ごみ等を選別し、再生利用可能なものを回収し、不要物を処理する破砕選別処理施設
- 2 容器包装プラスチック、ペットボトル、びん等分別収集された資源ごみの再利用に向けた中間処理施設
- 3 せん定枝をチップ化および微粉砕化し、堆肥の原料等として植物資源の有効利用の推進を図る資源化施設

令和2年度には容器包装プラスチック処理ラインを新設しました。また、同年に施設の設備・機器の経年劣化が進行するなかで、財政支出の削減および資源・エネルギーの使用を抑制するとともに施設全体の耐用年数の延長を図るため、長寿命化総合計画書を策定しました。

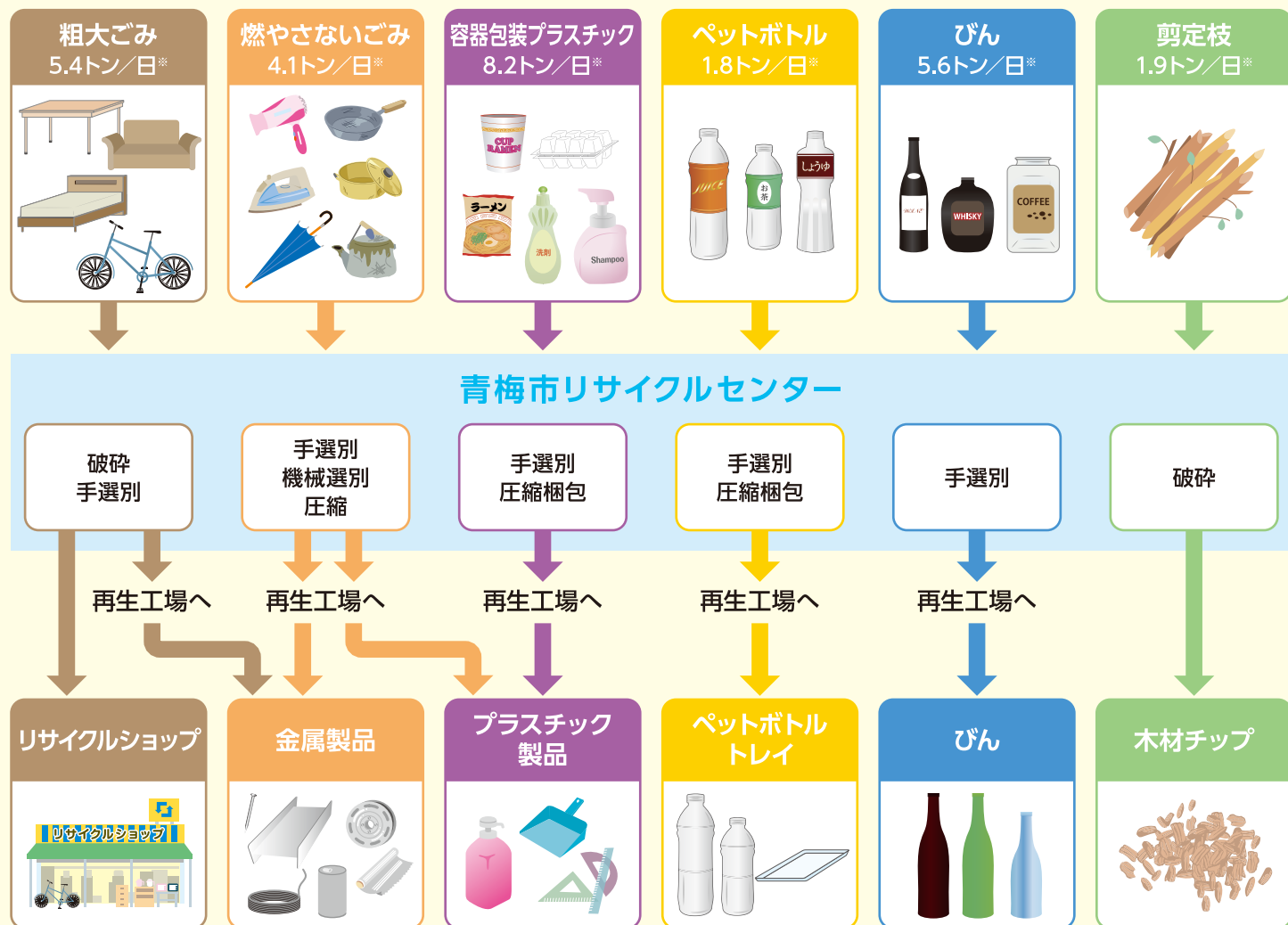
当計画書にもとづき、令和3～5年度に基幹的設備改良工事を実施しました。工事では、老朽化した主要設備やモーターの更新、照明設備のLED化および剪定枝破砕設備の更新等を行い、環境に配慮した新たな青梅市リサイクルセンターとして稼働することとなりました。

しっかり分別すれば
資源によみがエル



主なごみの流れ

※令和4年度に搬入されたごみ量を搬入された日で割った数値



主な設備



燃やさないごみ処理ライン

①ごみヤード



ごみが運ばれてくる場所です。

②不燃ごみ磁選機



強力な磁力で、燃やさないごみの中から鉄を回収します。

③金属プレス機



回収した金属を再生工場へ運びやすくするためプレスします。

容器包装プラスチック処理ライン

④破袋機



収集袋を、回転する刃と固定された刃で選別作業をしやすく破きます。

⑤手選別コンベヤ



人の手で汚れた物や金属等を取りのぞきます。

⑥圧縮梱包機



再生工場へ運びやすくするため圧縮してフィルムで包み、バンドで固定します。

粗大ごみ処理ライン

⑦粗大ごみ破砕機



粗大ごみを処理がしやすくするため碎きます。

剪定枝処理ライン

⑧剪定枝植織機



破砕したせん定枝をさらに細かくしてチップにします。

ペットボトル処理ライン

⑨圧縮梱包機



再生工場へ運びやすくするため圧縮してバンドで固定します。



車にごみが積まれた重さ、
降ろした後の重さの差で
ごみの重さを量ります

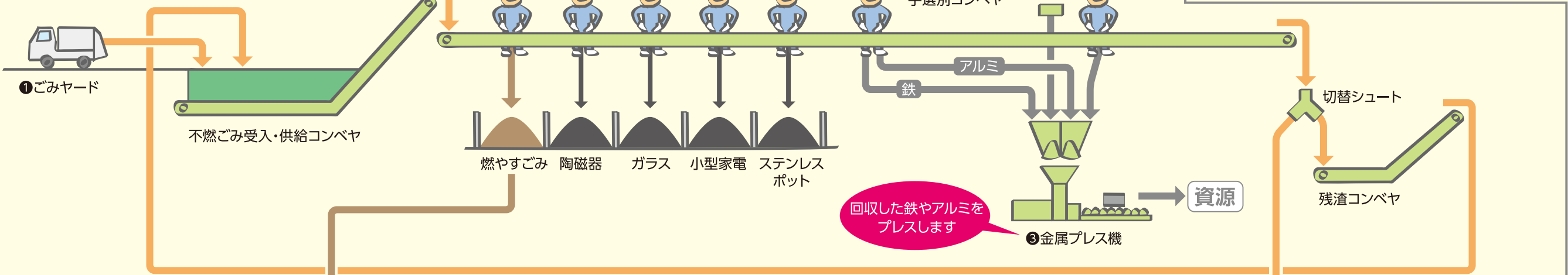
トラックスケール

- 燃やさないごみ
- 粗大ごみ
- 剪定枝
- 容器包装プラスチック
- ペットボトル
- 鉄・アルミ
- びん
- 可燃残さ

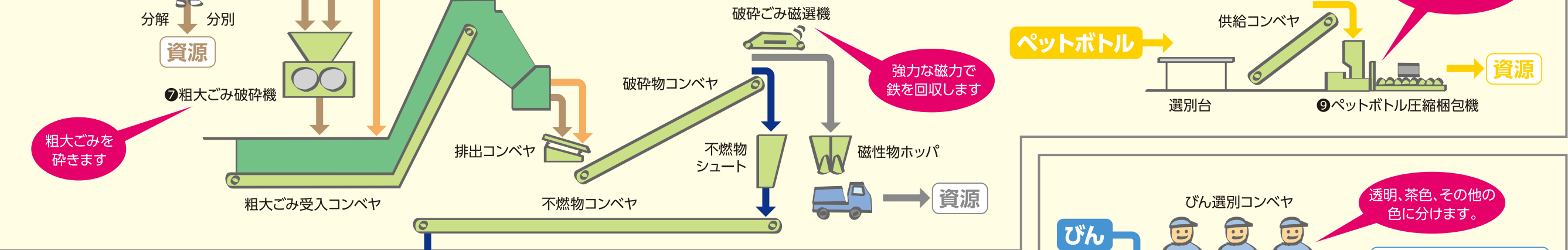
※ 黒丸の数字は、前ページの
写真と対応しています。

破碎棟

燃やさないごみ



粗大ごみ



資源棟

